



「泳げる」から「命を守る」へ スイミング業界初めての取り組みへ

これまでスイミング業界は、きれいに速く「泳げる」ように指導をしてきましたが、「足がつかないところ」「流れや波があるところ」「水温の低いところ」「濁った水の中」「着衣の状態」など、自然の中の水環境はプール環境とは程遠く、速くきれいに泳げても、命を守ることに繋がらないことがわかってきました。

ピュアスポーツでは、競泳を頂点におくのではなく「泳げた」次に「命を守る技術」を伝えることを使命と感じています。

この度一般社団法人水難学会に登録し、目標を持って安全水泳の技術を身に付けることができるよう、**命を守る安全水泳泳力認定**を独自に開発しました。

ピュアスポーツは悲しい水の事故を少しでも防げるよう、本気で考えています。

常務取締役
藤井 洋治郎 (ふじり)



日本中の子どもたちが 自分の命を守れるようになる

スイクンマン ムジックビデオ

YouTubeで動画を見よう!



岡崎竜城スイミング 様作成

お問い合わせ先

ピュアスポーツ 多賀城スイミング

多賀城市下馬3丁目21-18

電話 022-363-6566

<https://puresports.co.jp/tagajo/>



詳しくはこちら



ピュアスポーツ
多賀城スイミング

泳法習得+安全水泳

全国初の“命を守る” スイミングを目指します。



「泳げる」から
「命を守る」へ。

水の楽しさの先に、
子どもたちの未来がある。

 水難学会と連携
  UITEMATE (ういてまて)を含む、水難救助法の基礎を学ぶ
  泳法習得+安全水泳という新しいシステム
  専門資格を持つ指導者

一般社団法人 水難学会
The Japan Water Rescue and Safety Society

 定期的な
着衣水泳授業と
避難訓練を実施
  30分完泳
認定会を実施
(日本スイミングクラブ協会認定)
  全国初!安全水泳
泳力認定制度を導入
命を守る
安全水泳
認定証
4項目 検定できる
  東北で唯一の
安全水泳法
管理者資格取得
  指導者は
救急蘇生法
適任者資格取得
  救急蘇生法研修を
定期的実施

水の中で育てる、
生きる力と、たくさんの笑顔。



ピュアスポーツ
多賀城スイミング

なぜ今安全水泳を行うのか

【泳げることは、一生の財産】

多賀城市、塩竈市、七ヶ浜町は、東日本大震災で津波の被害を受けた地域です。だからこそ私たちは、「泳げる」だけでなく、水の中で自分の命を守る力を身につけてほしいと考えています。

近年、学校の水泳授業の減少などにより、十分に泳げない子どもたちが増えています。

水泳は、楽しく体を動かすだけの習い事ではありません。もしもの時、自分の命を守るための大切な力です。

ピュア多賀城では、確かな泳力に加え、「ウイテマテ」や水に落ちた時の対応、溺れている人を見つけた時の正しい行動など、水難事故から命を守るための知識と技術を身につけます。

泳げる子から、命を守れる子へ。

だから今、全国で初めて「安全水泳特化型スクール」を目指します

【水難学会】とは

水難事故から人の命を守るため、研究・教育・普及活動を行っているのが「一般社団法人 水難学会」です。水難学会は水難に関するすべてを扱い、溺者・バイスタンダー・救助者・医療従事者を「救命の連鎖」でつなぎます。それぞれの役割を明確にするため、現場での検証を重視し、その結果を学術総会等で議論。現時点で最も正しいと考えられることを公開し、テキストや講習会を通じて社会に広めています。消防職員や大学・研究機関の専門家、医療関係者などが所属し、2003年発足の「着衣泳研究会」を前身として活動しています。

水難学会が長年普及に努めてきたのが「ういてまて (UITEMATE)」です。水に落ちたときに慌てて泳ごうとせず、仰向けになって浮き、呼吸を確保しながら救助を待つという考え方です。単に泳ぐ技術ではなく、「救助されるまで生き残る」ための技術です。

近年は学校教育においても、水難事故を防ぐための「安全確保につながる運動」が重視され、「背浮き」が学習内容に位置づけられています。

そのキーワードは、ういてまて。

世界基準の技術や知識を持った団体です



水難学会理事 安倍淳様

“先般、子どもの体験レッスンにて貴クラブ「ピュアスポーツ多賀城店」様にお伺いしたましたが、安全管理体制の徹底ぶりに深く感銘を受けました。プールサイドには複数名の監視員が常時配置され、児童一人ひとりの動作に細心の注意が払われておりました。さらに、緊急時を想定した対応訓練も日頃から実施されていると伺い、万が一の際にも迅速な対応が期待できると感じました。更衣室及び入退室時の管理も厳格になされており、保護者の皆様も安心してお子様をお預けできると存じます。加えて、コーチの皆様が事故防止に関する規則を丁寧に説明くださり、規範意識を育む指導方針にも大変好感を抱きました。民間のスイミングスクールとしてこれほど高い安全基準を備えた施設は稀であり、地域の皆様にも自信を持って推薦いたします。”

「泳げる」から「命を守る」へ スイミング業界初めての取り組みへ

ピュア多賀城の具体的な取り組み

- 1 毎年6月に着衣水泳・避難訓練の実施
- 2 進級基準に安全水泳に関わる基準を導入
- 3 命を守る30分完泳認定会を実施
- 4 東北で1人。スタッフで安全水泳法管理者資格取得
- 5 指導スタッフ全員が救急蘇生法適任者資格取得
- 6 小学5、6年生の25m未完泳の子を無料で招待

これからの取り組み

- 1 全国初！安全水泳認定級の導入（クラブ認定証授与）
- 2 ウイテマテ指導員資格取得
- 3 地域への安全水泳指導イベント実施

子どもたちの「命を守る力」を育てるために
これからも、私たちは
挑戦し続けます。

安全水泳 泳力認定制度について

対象 ジュニアコース・選手育成コース
運用開始 2026年10月
対象月 2月・5月・8月・11月



安全水泳 認定基準

級	認定基準	認定方法	実施	認定料
6級	4種目完泳（36レベル到達）	自動認定	通常レッスン	無料
5級	バックフロートで12m移動（42レベル到達）	自動認定	通常レッスン	無料
4級	顔上げ平泳ぎで12m移動（43レベル到達）	自動認定	通常レッスン	無料
3級	ペットボトルを持ってバックフロート1分	申込制・認定員判定	年4回／通常レッスンの遊び時間	550円
2級	着衣でバックフロート1分	申込制・認定員判定	年4回／通常レッスンの遊び時間	550円
1級	着衣で顔上げ平泳ぎ12m	申込制・認定員判定	年4回／通常レッスンの遊び時間	550円

※ 着衣に必要な衣服、道具に関してはこちらで準備いたします。

安全な水泳で、
未来の笑顔を守るために。